

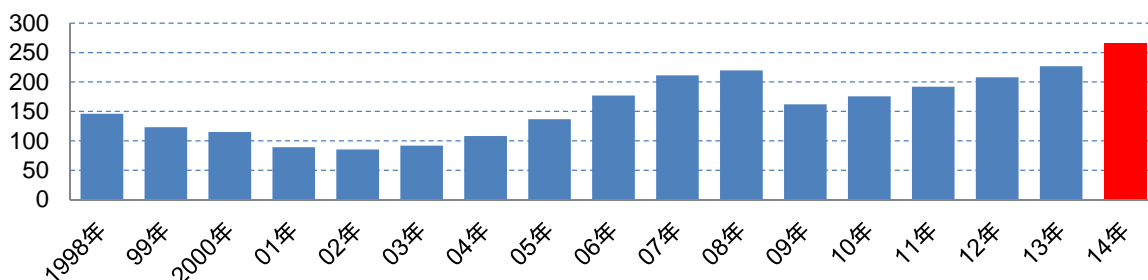
3月の日経平均株価

3月の日経平均株価は月末終値が1万9206円99銭と、2月末に比べ409円05銭(2.18%)上昇した。23日には1万9754円と昨年来高値を更新し、約15年ぶりの大台回復まであと240円余りまで迫った。春闘で高水準の賃上げが決まり、消費者心理の好転を通じた企業業績の拡大期待が広がった。主要企業が資本効率や株主配分重視の姿勢を強めると相次ぎ報じられたことも好感された。昨年3月末と比較した年度ベースでは4379円(29.53%)上昇した。

今月のトピック: 過去最高の日経配当指数、輸出関連が牽引

日経平均・配当指数(2014年)の最終値は265.12円となり、13年より38.39円(16.9%)上昇した。同指数は、日経平均株価を構成する銘柄の暦年ベースでの受取配当金が確定するたびに積み上げて算出するため、構成銘柄すべての配当額が確定する翌年の4月初めにその年の配当指数の最終値が決まる。年ごとの積み上げなので「『2014年の』日経配当指数」などと年号を持つ。

図1: 日経平均・配当指数(最終値)

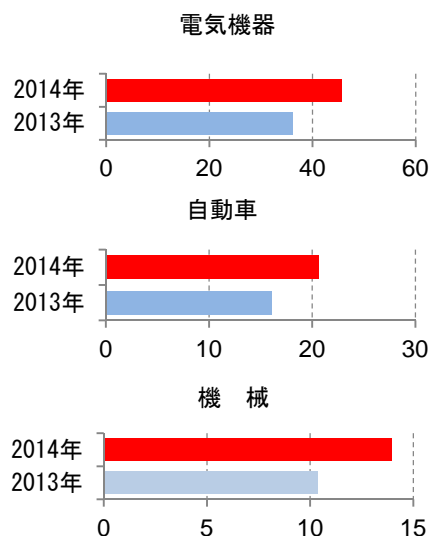


14年の同指数は、データのある98年来で最も高かった13年を上回り、2年連続で過去最高になった。日経平均を構成する225銘柄のうち、配当指数を算出するうえでの配当額(寄与額)が最高になったのは69銘柄と、約3割に上った。足元の株式市場では、株主配分の強化を表明した銘柄の株価が上昇し日経平均を押し上げる例が目立つが、配当指数の増加にも貢献した形だ。

業種別に集計すると、配当指数を押し上げたベストスリーは「電気機器」「自動車」「機械」の3業種。寄与額はともに、昨年に比べ3割前後増えた。特に業種別寄与額が最も大きい電気機器の寄与額は昨年に比べ9.50円増加し、寄与額の増加分全体(38.39円)の4分の1を占めた。上位業種は株式市場で「輸出関連」に位置付けられるという共通項がある。民主党政権時代の「超円高」が是正され、業績が上向いたこ

図2: 輸出関連業種が貢献した

(業種別の寄与額、単位: 円)



とで、各銘柄が配当を積み増したことが効いている。

上位3業種以外でも「精密機器」やタイヤメーカーで占める「ゴム」、「鉄鋼」など輸出採算改善の追い風を受けたとみられる業種は、寄与額の増加が目立った。

半面、内需系の業種では寄与額が減った業種が目立つ。「証券」は昨年比に比べ0.31円、「銀行」は同0.13円減った。「電力」は構成銘柄で唯一、配当を実施していた中部電力が14年4～9月期の配当を取りやめたため、寄与額がゼロになった。ただ、いずれも寄与額の減少はわずかで、全体への影響は限られた。

個別銘柄では輸出関連に加え、財務が健全で、手元資金が潤沢とされる銘柄の寄与額増加も目立つ。自己資本比率(ROE)を向上させるために、15年3月期から3年間、利益を100%還元すると表明したアマダホールディングス(旧アマダ)が好例。資本効率の改善を経営目標に掲げる企業が増えてきたことも、配当指数上昇の背景にあるといえそうだ。

表1: 寄与額が増えた銘柄ランキング

順位	銘柄名	寄与増加額(円)	2014年の寄与額(円)
1	KDDI※	3.25	11.78
2	ファナック※	3.03	9.34
3	セコム※	2.66	6.87
4	JT※	2.56	5.89
5	日東電※	2.15	4.12
6	トヨタ※	1.91	6.87
7	東エレク	1.90	3.93
8	ブリヂストン※	1.67	3.93
9	富士重※	1.33	2.51
10	キヤノン※	1.10	8.83
11	ダイキン※	1.00	2.63
12	ヤマハ	0.80	1.30
13	デンソー※	0.79	4.12
14	三井物※	0.77	2.59
15	TDK	0.76	3.14
16	京セラ※	0.73	6.28
17	三菱商※	0.68	3.06
18	ホンダ	0.64	6.91
19	アマダ※	0.59	1.02
20	富士フイルム※	0.57	2.16

(注)※は寄与額が過去最高

日経指数月次サマリー(2015年3月)

(データは3月末時点)

指数名	指数値	月間騰落率	平均リターン	標準偏差	年初来高値	同日付	年初来安値	同日付
日経平均株価	19206.99	2.18%	0.11%	1.12%	19754.36	3月23日	16795.96	1月14日
JPX日経インデックス400	14022.96	1.42%	0.11%	1.03%	14475.35	3月25日	12308.20	1月7日
日経平均トータルリターン	28452.14	2.78%	0.12%	1.12%	29092.06	3月23日	24719.38	1月14日
日経平均ボラティリティ	22.71	10.51%	0.11%	5.47%	26.58	1月6日	18.97	2月25日
日経平均VIX先物	33223.11	-8.21%	-0.34%	2.41%	50080.55	1月6日	30813.87	3月23日
日経平均ドルヘッジ	20429.61	2.21%	0.11%	1.13%	21008.88	3月23日	17851.30	1月14日
日経平均ユーロヘッジ	18007.28	2.27%	0.11%	1.13%	18526.28	3月23日	15690.33	1月14日
日経平均カバードコール	16712.50	2.19%	0.10%	0.97%	17108.44	3月25日	14648.80	1月14日
日経平均リスクコントロール	17563.64	1.28%	0.06%	0.67%	17912.32	3月23日	16255.58	1月14日
日経平均レバレッジ	15324.19	4.25%	0.22%	2.24%	16217.44	3月23日	11771.84	1月14日
日経平均インバース	2561.55	-2.27%	-0.11%	1.12%	2942.85	1月14日	2491.68	3月23日
日経平均ダブルインバース	3061.27	-4.62%	-0.22%	2.24%	4059.40	1月14日	2897.82	3月23日
日経株価指数300	313.39	1.25%	0.11%	1.03%	323.88	3月25日	274.44	1月14日
日経中国関連株50	1662.57	2.03%	0.11%	1.04%	1714.83	3月23日	1471.94	1月14日
日経500種平均株価	1715.60	3.48%	0.13%	1.00%	1762.99	3月23日	1464.27	1月7日
日経JAPAN1000	1823.84	1.30%	0.11%	1.03%	1881.88	3月23日	1603.46	1月14日
日経ジャスダック平均株価	2457.58	0.97%	0.08%	0.63%	2482.91	3月25日	2329.73	2月3日

指数名	指数値	昨年比	最高値	同対象年	最安値	同対象年
日経配当指数(2014)	265.12	16.93%	265.12	2014	85.45	2002

注: 平均リターン、標準偏差は過去1年の日次騰落率から算出

日経配当指数の昨年比は昨年3月末時点との比較、最高値、最安値は1998年以降の同時点の比較

【ディスクレーム】本資料は信頼できると思われる各種情報、データに基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性などに対して日本経済新聞社(日経)は責任を負いません。また本資料に記載された情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害についても、日経は一切その責任を負いません。本資料は、常に最新の情報に更新されていることを保証せず、また予告なく変更することがあります。本本資料の一切の権利は日経に属しており、本資料を無断で転載したり第三者にコピー等を流布することを禁じます。